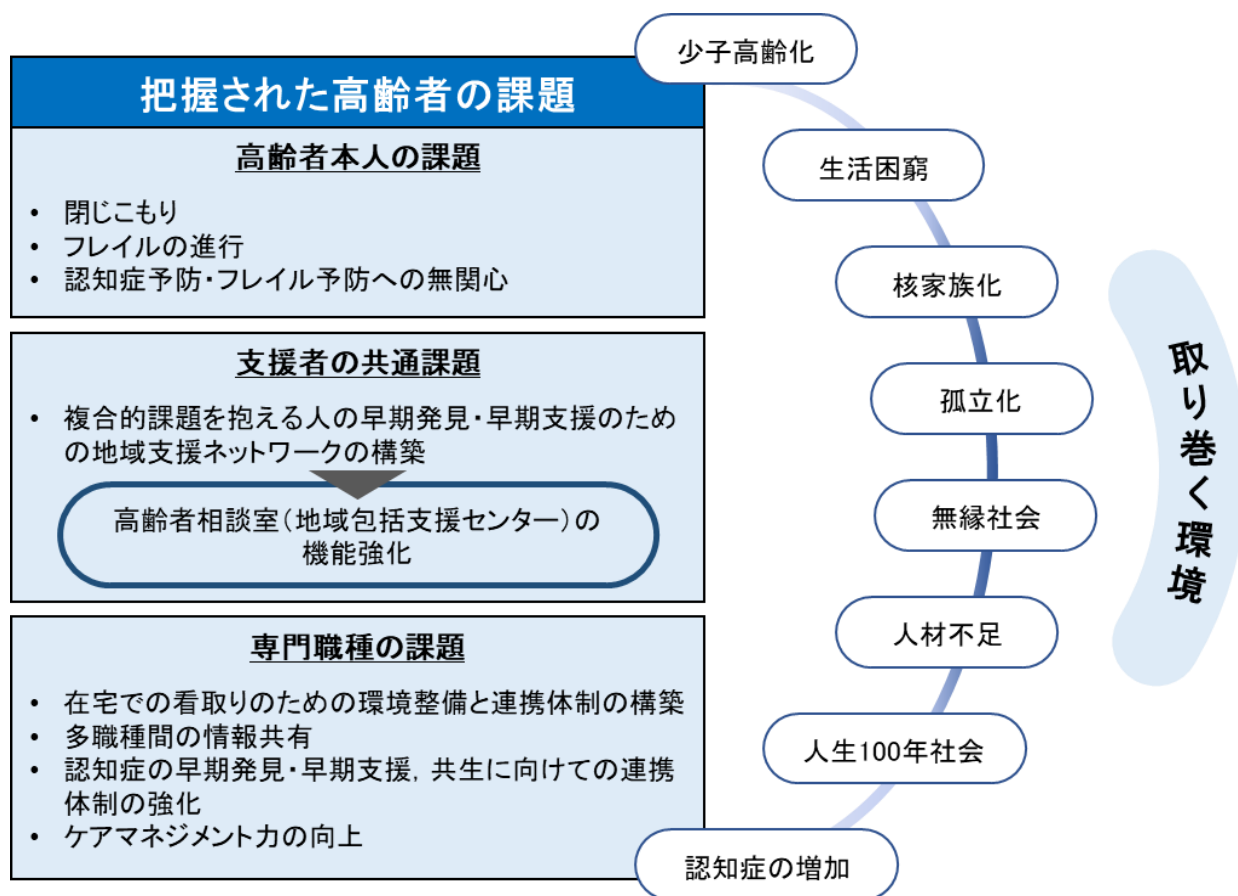


地域ケア会議等を通じた市全域の課題と対応について

1 地域ケア会議等から把握された課題と高齢者を取り巻く環境



2 市全域の課題

- (1) 生活課題が複雑で複合化した事例件数の増加と共に支援者の負担増と担い手不足が深刻化しているため、課題の早期発見、早期対応に着手できる体制整備
- (2) 医療・介護サービス提供のみならず、多様な生活支援体制の充実と高齢者の社会参加の促進
- (3) 医療・介護・福祉等の専門機関の多職種間の情報の共有化と連携強化
- (4) 移動支援・ごみ出し問題の深刻化

3 今後の対応

- (1) 地域支援ネットワーク（セーフティーネット）の構築
地域の医療・介護・福祉等の関係機関の多職種協働で一体的なサービス提供ができる体制の強化に加え、本人（高齢者）、家族（介護者）、地域住民、事業者・関係団体、行政がつながる体制づくりを高齢者相談室（地域包括支援センター）を中心に進めるとともに、その体制を広く市民等に周知するための広報活動を強化します。

【令和7年度の取組】

- ・ 認知症の早期発見・早期受診につながるセーフティーネットの構築
- ・ 高齢者相談室（地域包括支援センター）の機能強化
- ・ 地域資源情報データベース（しとってクレ）の充実

- (2) 支え合いや助け合いの地域づくりの推進

いつまでも元気で長生きするための「介護予防」、ちょっとした困りごとを互助で支える「生活支援」、元気で支え合える関係づくりをするために、色々なところに参加して人となつながら「社会参加」を進めるために、介護予防・生活支援体制整備事業を強化します。

【令和7年度の取組】

- ・ 生活支援コーディネーターによる他機関との連携強化及び生活支援サービスの充実
- ・ 習慣化アプリを利用したフレイル予防の取組の推進

- (3) 認知症と共に生きるまち（認知症パッケージ事業）の推進
報告2（資料2）のとおり